



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日  
東上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所  
コード番号 9008 URL https://www.keio.co.jp/代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 紅村 康  
社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部経理部 (氏名) 上野 崇宏 (TEL) 042-337-3135  
経理担当課長  
四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	230,551	△30.1	△15,106	—	△12,623	—	△13,155	—
2020年3月期第3四半期	329,990	△0.9	36,164	1.3	35,333	△0.7	24,351	4.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △14,824百万円( —%) 2020年3月期第3四半期 27,244百万円( 58.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△107.74	—
2020年3月期第3四半期	199.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	917,077	352,759	38.5
2020年3月期	876,691	373,454	42.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 352,651百万円 2020年3月期 373,172百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	27.50	52.50
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	△25.1	△25,000	—	△23,000	—	△28,000	—	△229.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】10ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	128,550,830株	2020年3月期	128,550,830株
2021年3月期3Q	6,450,171株	2020年3月期	6,449,347株
2021年3月期3Q	122,101,107株	2020年3月期3Q	122,102,337株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式に含めている役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。

2021年3月期第3四半期 : 57,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】5ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当第3四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	329,990	230,551	△99,438	△30.1	433,669
連結営業利益又は 連結営業損失(△)	36,164	△15,106	△51,270	—	36,024
連結経常利益又は 連結経常損失(△)	35,333	△12,623	△47,957	—	34,684
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	24,351	△13,155	△37,506	—	17,875
連結E B I T D A	63,029	11,107	△51,921	△82.4	72,292
連結減価償却費	26,561	25,859	△701	△2.6	35,862

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益又は連結営業損失 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。2020年5月の緊急事態宣言解除後、国内個人消費はやや持ち直したものの、感染が再び拡大し、2021年1月には緊急事態宣言が再び発出されるなど極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの事業活動においては、訪日外国人旅行客数の激減や外出自粛に加え、営業時間短縮・休業などにより、4月および5月を中心に大きな影響を受けました。その後は社会経済活動のレベルが引き上げられ、また「Go To キャンペーン」などの需要喚起策により緩やかながらも回復基調にありましたが、足元では感染が再び拡大するなど、見通しのきかない厳しい事業環境が続いております。当社グループはお客様に安心・安全にご利用いただけることを最優先に、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら鉄道をはじめとする社会インフラを維持し、消費者行動の変化に適応しながら業績回復に努めました。

これらの結果、連結営業収益は運輸業、流通業およびレジャー・サービス業で減収となり2,305億5千1百万円(前年同期比30.1%減)、連結営業損失は151億6百万円となりました。連結経常損失は126億2千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は131億5千5百万円となりました。

なお、連結E B I T D Aは111億7百万円(前年同期比82.4%減)となりました。

また、連結減価償却費は258億5千9百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

## ②当第3四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益又は営業損失(△)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	100,356	66,070	△34.2	15,656	△11,515	—
流通業	125,103	95,448	△23.7	3,947	442	△88.8
不動産業	31,397	33,317	6.1	7,681	8,001	4.2
レジャー・サービス業	59,107	17,957	△69.6	6,111	△14,771	—
その他業	40,652	41,544	2.2	3,033	2,887	△4.8
計	356,617	254,339	△28.7	36,430	△14,955	—
連結修正	△26,627	△23,787	—	△266	△150	—
連結	329,990	230,551	△30.1	36,164	△15,106	—

## ( 運 輸 業 )

鉄道事業では、5月の緊急事態宣言解除後は緩やかな回復基調にありましたが、足元では感染再拡大に伴う影響を受けており、旅客運輸収入が34.3%減（うち定期30.4%減、定期外37.4%減）、鉄道事業の営業収益合計が33.7%減となりました。また、バス事業においても、路線・高速などで減収となりました。これらの結果、営業収益は660億7千万円（前年同期比34.2%減）、営業損失は115億1千5百万円となりました。

## ( 流 通 業 )

百貨店業およびショッピングセンター事業では、食料品などの需要は回復基調にありますが、外出自粛の影響や営業時間短縮・休業などにより減収となりました。また、ストア業では、スーパーマーケット事業で増収となったものの、全体としては減収となりました。これらの結果、営業収益は954億4千8百万円（前年同期比23.7%減）、営業利益は4億4千2百万円（前年同期比88.8%減）となりました。

## ( 不 動 産 業 )

不動産賃貸業では、前年度に取得した物件の寄与などがあったものの、減収となりました。一方、不動産販売業では、リノベーション物件の売上増などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は333億1千7百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は80億1百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

## ( レジャー・サービス業 )

ホテル業では、6月に高山グリーンホテルの新館「桜凜閣」を開業したものの、全体では、訪日外国人旅行者をはじめとした宿泊需要の激減により大きな影響を受け、「Go To キャンペーン」などの需要の取り込みに努めましたが、感染再拡大もあり大幅な減収となりました。旅行業では、外出自粛の影響に加え営業時間短縮・休業もあり減収となりました。広告代理業では、大規模イベント等の中止に伴う受注減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は179億5千7百万円（前年同期比69.6%減）、営業損失は147億7千1百万円となりました。

## ( そ の 他 業 )

ビル総合管理業では、メンテナンス業務の受注増などにより増収となりました。建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は415億4千4百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は粗利益の減少などにより28億8千7百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

## [鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	312,537	204,924	△34.4
	定期外	〃	208,265	133,571	△35.9
	計	〃	520,802	338,495	△35.0
旅客運輸収入	定期	百万円	27,396	19,077	△30.4
	定期外	〃	34,943	21,857	△37.4
	計	〃	62,340	40,934	△34.3

## [業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	65,441	43,410	△33.7	84,848
	バス事業	27,951	18,694	△33.1	36,222
	タクシー業	9,390	6,448	△31.3	12,133
	その他	2,039	1,786	△12.4	2,557
	消去	△4,466	△4,268	—	△6,101
	営業収益	100,356	66,070	△34.2	129,659
	営業利益又は営業損失(△)	15,656	△11,515	—	13,345
流通業	百貨店業	66,863	40,258	△39.8	84,768
	ストア業	38,558	37,855	△1.8	51,166
	書籍販売業	4,518	4,489	△0.6	6,089
	ショッピングセンター事業	11,009	9,908	△10.0	14,612
	その他	9,036	7,231	△20.0	11,883
	消去	△4,881	△4,294	—	△6,340
	営業収益	125,103	95,448	△23.7	162,180
	営業利益又は営業損失(△)	3,947	442	△88.8	4,400
不動産業	不動産賃貸業	27,727	27,533	△0.7	36,973
	不動産販売業	10,727	11,754	9.6	17,246
	その他	2,031	1,645	△19.0	2,799
	消去	△9,089	△7,615	—	△11,686
	営業収益	31,397	33,317	6.1	45,333
	営業利益又は営業損失(△)	7,681	8,001	4.2	9,199
レジャー・サービス業	ホテル業	42,602	16,186	△62.0	52,814
	旅行業	10,749	1,640	△84.7	13,186
	広告代理業	9,016	5,437	△39.7	13,162
	その他	5,050	3,076	△39.1	6,377
	消去	△8,310	△8,383	—	△11,451
	営業収益	59,107	17,957	△69.6	74,088
	営業利益又は営業損失(△)	6,111	△14,771	—	4,343
その他業	ビル総合管理業	17,383	17,775	2.3	27,070
	車両整備業	6,679	6,186	△7.4	10,691
	建築・土木業	11,386	11,563	1.6	22,670
	その他	6,607	6,212	△6.0	8,924
	消去	△1,404	△194	—	△2,322
	営業収益	40,652	41,544	2.2	67,035
	営業利益又は営業損失(△)	3,033	2,887	△4.8	5,759

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額
総資産	876,691	917,077	40,385
負債	503,236	564,318	61,081
純資産	373,454	352,759	△20,695
負債及び純資産	876,691	917,077	40,385
有利子負債	329,501	404,639	75,138

(注)有利子負債は、借入金 + コマーシャル・ペーパー + 社債により算出しております。

当第3四半期連結会計期間の総資産は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当面の資金需要に対応可能な水準まで手元資金を拡充したことなどにより403億8千5百万円増加し、9,170億7千7百万円となりました。

負債は、社債やコマーシャル・ペーパーの発行などにより610億8千1百万円増加し、5,643億1千8百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより206億9千5百万円減少し、3,527億5千9百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間の有利子負債は4,046億3千9百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回公表時(2020年11月2日)の予想を据え置くことといたします。なお足元では2021年1月に緊急事態宣言が再び発出されるなど不透明さが増しており、今後の感染拡大や収束の状況等によって、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,979	87,930
受取手形及び売掛金	35,249	30,530
有価証券	2,000	—
商品及び製品	11,086	12,159
仕掛品	25,640	25,830
原材料及び貯蔵品	2,246	2,324
その他	8,949	9,523
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	125,142	168,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	344,392	336,436
土地	231,165	234,631
建設仮勘定	36,304	43,177
その他（純額）	48,269	43,862
有形固定資産合計	660,131	658,107
無形固定資産	13,340	13,014
投資その他の資産		
投資有価証券	48,169	45,608
その他	30,044	32,194
貸倒引当金	△138	△137
投資その他の資産合計	78,076	77,666
固定資産合計	751,548	748,787
資産合計	876,691	917,077



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,619	16,173
短期借入金	70,606	69,103
1年内償還予定の社債	—	20,000
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
未払法人税等	5,640	1,971
引当金	4,544	3,599
その他	85,300	74,512
流動負債合計	182,712	215,359
固定負債		
社債	130,000	150,000
長期借入金	128,894	135,536
退職給付に係る負債	21,713	23,969
その他	39,916	39,451
固定負債合計	320,524	348,958
負債合計	503,236	564,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,012	42,187
利益剰余金	286,271	267,316
自己株式	△19,552	△19,733
株主資本合計	367,755	348,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,052	4,075
為替換算調整勘定	3	2
退職給付に係る調整累計額	360	△220
その他の包括利益累計額合計	5,416	3,857
非支配株主持分	282	107
純資産合計	373,454	352,759
負債純資産合計	876,691	917,077

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業収益	329,990	230,551
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	256,247	209,359
販売費及び一般管理費	37,577	36,298
営業費合計	293,825	245,658
営業利益又は営業損失(△)	36,164	△15,106
営業外収益		
受取利息	17	15
受取配当金	1,297	1,162
持分法による投資利益	21	—
助成金等収入	—	3,685
雑収入	500	504
営業外収益合計	1,837	5,368
営業外費用		
支払利息	2,357	2,332
持分法による投資損失	—	175
雑支出	310	376
営業外費用合計	2,667	2,884
経常利益又は経常損失(△)	35,333	△12,623
特別利益		
投資有価証券売却益	66	4,654
退職給付制度改定益	—	1,748
工事負担金等受入額	232	227
その他	1,775	106
特別利益合計	2,074	6,735
特別損失		
固定資産除却損	716	467
投資有価証券評価損	165	407
退店補償金	163	376
固定資産圧縮損	209	223
その他	187	136
特別損失合計	1,442	1,611
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	35,966	△7,499
法人税等	11,620	5,764
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,345	△13,264
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	24,351	△13,155

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,345	△13,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,335	△976
退職給付に係る調整額	△432	△581
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△1
その他の包括利益合計	2,898	△1,559
四半期包括利益	27,244	△14,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,249	△14,715
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△108

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 1. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	100,356	125,103	31,397	59,107	40,652	356,617	△26,627	329,990
セグメント利益	15,656	3,947	7,681	6,111	3,033	36,430	△266	36,164

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	66,070	95,448	33,317	17,957	41,544	254,339	△23,787	230,551
セグメント利益 又は損失 (△)	△11,515	442	8,001	△14,771	2,887	△14,955	△150	△15,106

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。